

第1回放送番組審議会

議事録

平成30年7月6日

株式会社クローバーメディア

番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成30年7月6日 金曜日
- 2 開催場所 志木市 株式会社クローバーメディア・Aスタジオ
- 3 委員の出席 委員の総数 6名
- 出席委員数 5名
- 出席委員の氏名 山名 真名 委員長
- 野島 安広 副委員長
- 狩野 悦夫
- 野口 敏明
- 原藤 光

放送事業者側出席者氏名

放送局長 柏木 恭一

技術・審議会担当 勝村 一介

4 議題

- [報告事項] 1. 社名変更について
2. 演奏所の移転について
3. 増力について
4. 番組編成の変更について
5. その他

[諮問事項] なし

[審議事項] なし

[協議事項] 1. その他

5 議事の概要

放送事業者側から開会の挨拶の後、議題審議に入った。

6 審議内容

議長 まずは報告事項をお願いします。

局員 昨年9月に営業譲渡を開始し年末に向けて準備を行い、1月1日に正式に「クローバーメディア」としてラジオ放送を切り替えた。

合わせてラジオだけでなく、(インターネットを利用した) Net TVも始めた。

(審議会場である)スタジオは昨年12月にまず引っ越しをして、1月の社名変更間に合わせた。

昨年は秋頃から年明けにかけてバタバタとしていた。

年明け早々エリアの拡大(増力)の準備に入った。4月を目指してやっていたが、アンテナの工事などで遅れた。

できれば社名変更に合わせてかったが、増力するには周波数を変更する必要があり、

周波数の決定が延びてしまったのと、それに合わせた送信アンテナや機材が発注できずにいた。

6月29日金曜日14時に76.7から77.5に切り替えた。

エリア拡大とNetTVの武器が増えた。

今までの1Wから10Wになって、単純に（距離が）10倍になる訳ではないが、だいぶ聴こえる範囲が広がった。

外環では結構入ってくるが、新座は逆に入り辛くなったところはある。

引き続きサイマルラジオもやっているの、そちらでの反応が結構ある。

局員 すまいるエフエムとしての最後（の編成では）、午前中の生放送は休止していた。クローバーメディアとして1月より月曜日から金曜日9時～11時で、午前中の生番組を復活させた。NetTVを開始するにあたり、そちらを19時から行えるよう準備等を考え、ラジオの生放送を18時で切り上げる編成とした。

局員 NetTVに関しては電波を飛ばすテレビではなく、Youtubeを利用した配信になるため、あまりリアルタイムで見る人は少ないだろうと思っており、生配信は結構手間がかかることが分かり、収録時間としてスタジオを空けている。（NetTVの）看板番組は現在、武田邦彦先生の番組であるが、10万人ぐらい見て貰っている番組である。生でも配信しているが、その時間は20～30人ぐらいである。

チャンネル登録者もかなり増えた。今日現在で8300人ぐらいいる。周辺行政のYoutube登録者は、朝霞市公式は70数名、和光市が30数名、川越でも230名ぐらいである。市長の挨拶でも20～30名程度である。

それを考えると、各行政にもクローバーメディアで展開できないか、との売込みができると思っている。

ラジオとNetTVの良いところ取りをしながら、地域のメディアとしてできればと考えている。

やってみてNetTVに食いつくのは、この地域の企業ではないかと、感じている。事業としては広げた視野を持ちたい。

委員 やはりネットを利用すれば、都内を見なくても地方でもやっていけるのだろうか。ラジオには地域のスポンサーが付くようにできれば面白いのではないかと。今までの営業方針とは違うことをアピールできればいいのではないかと。

局員 地域イベントとしては志木の駅前、丸井の前で音楽イベントを始めている。

今後は、そこでマルシェ・地域マーケットの開催を考えている。

志木は元々「市（いち）」の街なので、それを復活させたい。世界各地でも「市」がある。そこは人と人がつながる場所だと思う。

新座でもマルシェを始めようとしている団体があるので、一緒にできればと言っている。ラジオ番組関係者である。

イベントは地域ラジオ局がサポートしている、と言うのが強みになると言っている。

委員 ラジオと絡めたことはできないのか。

局員 現時点ではマルシェでラジオの「何かする」ことは考えていない。

ラジオで番組をやっているアーティストは、出られる場が増えて喜んでいようである。

NetTVでは、武田先生の番組の公開録画をやることになっているが、そちらでは地域の方はやっと1人朝霞の人が申し込みしてくれた。それはうれしいが、逆に地域の方が来てくれないのは非常に残念である。

委員 今回「クローバーメディア」の第1回番組審議会となっているが、ちょっと開催するのに案内等雑な感じがした。

周波数変更も1週間経ったが、これから変更周知をもっとやっていかなければならないと思った。スタジオも移転してしまって、ラジオ局が無くなったと感じる人がいると思う。

NetTVをやるということで、地域への愛着心が無くなってしまったのではないのか。

局員 この社名の「クローバー」は、エリアの4市をイメージしている。

増力して入りやすくなったので、より4市と繋がることを考えている。

委員 エリアが広がるのは良いが、軸足がぶれないようにして欲しい。

委員 経営も考えなければいけないと思う。そう意味では仕方ない部分もある。

委員 76.7はできれば変えて欲しくなかった。10年築き上げたものだと思う。

局員 鴻巣も76.7を使っている関係上、同じ周波数で増力できなかった。

委員 もう一度、周波数周知を力を入れてやってもらいたい。
朝霞台の前のスタジオは1階だったのでリスナーも見に来やすかったが、新しいスタジオでは集まり辛いと思うので、工夫が必要かと思う。

委員 志木に来るということでいろいろ事前に聞いていた。

委員 以前のステッカーのように、新しい周波数のものを作って、周知はもっとやった方が良い。

委員 やはりスタジオは「何をやっているのかな」と見られるようにできると良いと思う。

その他 今後の審議会について、日程を確認した。
次回開催予定は、平成30年9月20日 午後7時より。

7 審議機関の答申または改善に対してとった措置
なし

8 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、
方法及び年月日
7月9日（月）社内にて報告した他、社内掲示を行った。

9 その他の参考事項 なし

社名	株式会社クローバーメディア
----	---------------